

令和2年7月12日執行

角田市長候補者選挙公報

角田市選挙管理委員会

共に創るっ!

市民が主役!

「こんな角田市ならイネ!」をみなさんと共に実現していきます。



くるす
黒須とおる
五十五歳

黒須とおる『幸せへの4つ葉のクローバー』公約

いのちを守り、豊かに育む

1. 台風19号被害からの復旧に全力を上げ、さらに自然災害から市民の命を守る、万全の防災対策を進めます。
2. 女性が活躍し、安心して暮らせる環境づくりを優先します。
3. 病院や福祉施設・行政・地域が連携し、住民の健康を守る地域包括ケアシステムを充実させます。

Happy four-leaved clover



国・県・市の連携をさらに太く! 強く!

1. 国・県との強力な連携で、災害への対応を万全なものにするともに、地域提案型の事業誘致を積極的に行い、新しい地方創世のモデルになります。
2. 自治センターを地域活動の拠点として、市民参加の地域づくりを、共に創ります。
3. 市職員の役割を見直し、自主性と専門性を高め、市民活動をサポートするプロデューサーとして、共働のまちづくりを担います。

地域産業の復興! 農・林・商・工業を全力で支援

1. みやぎ産業振興機構と連携し、地域産業コーディネート体制をととのえ、地場産業のバックアップ、小規模事業者の支援を行います。
2. 農・商・工連携の事業を進め、新たな商品開発を行います。企業間連携を進め、角田拠点の新事業を育てていきます。
3. 豊かな自然の中での暮らしに関心が集まる時代。若い世代が農業にチャレンジできる担い手づくりの先進地角田を実現します。

5年前、「角田市を決して消滅させない」という強い思いをいだき、角田市議会議員に立候補しました。

常に市民に寄り添い、市民の声に耳を傾けながら、政策の提言と実現への努力をしてきました。

昨年10月、角田市は甚大な水害に見舞われました。対応に奔走する中で痛感したのは、市民の命と財産を守ることが市政の絶対条件だということ。人と人、市民と行政、市・県・国のしっかりとした連携が、大きな力になるということでした。

市民も、行政職員も、女性も、若者も共に参画し、市民が主役の市政を創るために、角田市長選挙に立候補しました。

昭和39年7月22日生まれ
母・妻・子供(1女4男)8人家族

黒須 寛

- 宮城県角田高等学校卒業
- 元 角田市PTA連合会会長
- 國學院大学法学部卒業
- 元 角田市議会議員
- 元 鶴岡八幡宮(鎌倉市)神職
- 角田市消防団 団員
- 熱日高彦神社含む4神社宮司
- とらいゆ〜すMIYAGI
- 社会福祉法人恵秋会 はぐくみ 角田市青少年育成推進員 学園理事(元職員)

子どもたちと共に、生きる力を培う

1. 地域全体を学びの場へ。角田の歴史・伝統・文化を学び、ふるさとを誇りに思う人材を育て、「地方→都会」への流れを変えます。
2. 角田高等学校の魅力化プロジェクトを県とともに進め、小・中・高、そして地域との連携で角田独自の教育システムを実現します。
3. 保育料、子ども医療費、学校給食の無償化を実現し、「子育てしやすいまちNO.1」を目指します。



木村しんいち

3つの重点政策9つの柱

誰もが身近に感じる市政!

市民の日常の声を結集し、活力ある地域に創り変えます!

人づくりこそ力

- 仙南地域トップの教育水準、炎のような情熱で推進
- 子ども食堂 ジャンジャン食べて子育て世代の応援
- コロナ感染をムシ返させない! 安心な医療体制
- 子ども医療費完全無償化と小児科・産科医療の確保

角田を元気に! 移住定住の地域づくり

- 商店街「街なか駅」と阿武急「駅前」に賑わいの音が絶えない人が集まる環境づくり
- 風のように世界とつながるネット環境の整備
- 霞が関に働きかけ、特区申請で活気づく街
- 農地集約化、若者就業によるビジネス農業の推進
- 角田に恋。テレワークと空き施設への企業誘致による雇用づくり

市民のための政治・行政

- 台風被害復旧・治水対策の強力推進。水害・災害に強い安心の街づくり
- 家族も安心! 中核病院までの公共交通網の整備
- 「道の駅」の収益向上対策にテコ入れ、市の財政負担を軽減
- 第二の夕張にはしない! 岩盤のように硬直した市の借金財政を改善

プロフィール

1953(昭和28)年4月1日生
市内寺前地区在住

【経歴】

- 東北大学経済学部卒
- 元角田市役所総務部長
- 小中学生対象 学習塾経営

【地域活動】

- 学び支援員
- 児童生徒の学習支援
- シルバー人材センターで地域活動
- 地元寺前地区役員
- 角田中学校同窓会役員

角田を守る! 新型コロナ対策!

- ① 給食費の無料化
- ② 水道料基本料金の無料化
- ③ 妊婦さんへタクシー券の配布
- ④ コロナ終息後の「角田を売り込む営業活動」の強化

プロフィール

1974年10月31日 角田市生まれ
角田市立金津中学校、角田高等学校
東北学院大学文学部英文学科卒業
青年海外協力隊(チュニジア共和国、空手道指導)

衆議院議員公設第一秘書
2015年 角田市議会議員初当選
2019年 角田市議会議員二期目当選

しがらみの政治から

古い体質のままではますます取り残されます

刷新!

透明な政治へ

市民が主役となる
公平・公正・開かれた政治へ!
今必要なのは新しい風!

守りの行政から

慎重すぎて目新しさがなくマンネリ化した政策

転換!

攻めの行政へ

何ごとにも果敢に挑戦!
今こそ先取り精神が必要です!

停滞する街から

近隣の自治体と差が開くばかりこのままでは更に差が開きます

脱却!

成長発展する都市へ

安心・安全を実現する社会
農工商連携の深化
IoT化を進め発展する都市へ!

角田を一新!!



武田あきら 45歳